

2022年4月20日

各位

地域文化活動助成制度の第61回助成先が決定！

～「草の根」文化活動をお手伝いして30年～

株式会社伊予銀行(頭取 三好 賢治)は、第61回 地域文化活動助成制度の助成先を決定しましたので、下記のとおりお知らせいたします。

本制度は、愛媛県内で文化活動を継続しておられる皆さま方に対し、活動経費の一部を助成させていただくことで、地域独自の伝統文化の継承や地域生活文化の水準向上に寄与することを目的としています。コロナ禍でも感染対策を講じて活動されている団体は数多くあり、今回も前回とほぼ同数となる21先に総額375万円を助成いたします。

本制度は1992年から年間2回の助成を30年にわたって実施しており、今回分を含めた累計は、先数で1,295先、総額約2億5千万円となります。(「平成30年7月豪雨」被災団体対象 特別助成14先、697万円を含む)

記

〔第61回 地域文化活動助成制度の概要〕

- 助成先数 21先
- 助成金額 375万円
- 助成金贈呈式 松山市で開催(詳細は別紙をご参照ください。)
- 助成先(分野別、順不同、敬称略)

音楽分野 (6先) <ul style="list-style-type: none"> ・グループ ひびき(松山市) ・吟道富貴流振興会(砥部町) ・「音楽サークル風」コール・ウィンド(新居浜市) ・西条葵コーラス(西条市) ・アンサンブル声友うわじま(宇和島市) ・パステルカラー(愛南町) 	郷土芸能分野 (4先) <ul style="list-style-type: none"> ・南土居町獅子舞保存会(松山市) ・鳥生獅子連中(今治市) ・西蓮寺祭り委員会(新居浜市) ・旧西條藩田宮流居合術保存会(西条市)
創作芸能分野 (6先) <ul style="list-style-type: none"> ・Hanbun.co(松山市) ・金栄銭太鼓部(新居浜市) ・ダンススタジオ108(西条市) ・道前太鼓LA・BANTA(西条市) ・大洲臥龍太鼓保存会(大洲市) ・ちびっこ和太鼓サークル和奏(大洲市) 	美術分野 (3先) <ul style="list-style-type: none"> ・松山国際写真集団(松山市) ・糸山フォトクラブ(今治市) ・絵画グループ「あいあい」(四国中央市) 生活文化分野 (2先) <ul style="list-style-type: none"> ・NPO法人松山子ども劇場21(松山市) ・宇和島城山を守る会(宇和島市)

以上

【助成金贈呈式】

○日 時

2022年4月26日（火） 10：30～13：00

○場 所

東京第一ホテル松山 2階 コスモホール

○式 次 第

10：30 当行代表挨拶

10：35 助成金目録・賞状贈呈

11：00 伊予銀行文化振興顧問団委員祝辞

11：05 助成団体の活動映像紹介・質疑応答

12：25 記念撮影

12：55 閉式挨拶

13：00 閉式

○出 席 者

助成団体 21 先の各代表者様

伊予銀行文化振興顧問団（子規記念博物館 総館長 竹田 美喜 ほか 2 名）様



当行取締役会長 大塚 岩男



当行取締役頭取 三好 賢治

当行常務取締役 長田 浩

以 上

助成団体・助成内容の一例ご紹介

<p>はんぶんこ Hanbun.co 様</p>	 
<p>助成対象：10周年記念公演開催</p>	
<p>Hanbun.co 様は、地方のアート文化低迷に危機感を抱いたアニメ作家・美術家の山内氏と、振付家・ダンサーの得居氏により設立されました。主に童謡をモチーフとして、ダンスとアニメを組み合わせるアートパフォーマンス集団で、メールのやりとりによる他者との繋がりや孤独がテーマの「やぎさんゆうびん」等、独特な世界観の作品を発表してきました。</p> <p>また、自分達の身体や、街の建物・風景をコマ撮りして作品を創り上げる親子向けワークショップはリピーターが出るほどの人気を博しています。</p> <p>本年9月に伊予市文化交流センターで開催する10周年記念公演では、夜が明ける直前の、人の判別がつかなくなる時間「彼は誰れ時(かはたれどき)」をテーマに、コロナ禍以降、さらに加速するネット上のフェイクニュースや、溢れる情報の中で生きる人々を描きます。</p>	

<p>ちびっこ和太鼓サークル^{わかな}和奏 様</p>	 
<p>助成対象：オンライン配信機材購入</p>	
<p>ちびっこ和太鼓サークル和奏様は、大洲市と内子町の子供達による和太鼓集団です。</p> <p>内子高等学校 郷土芸能部の初代メンバーだった代表の入澤氏は、全国大会への出場や、和太鼓による海外との交流活動等の経験を通じて、「子供達に日本の伝統芸能に親しんでもらうと共に、海外へ発信する力を身に付けて欲しい」との思いから、本グループを創設しました。</p> <p>年間を通じて地域の祭りやイベントへ多数出演している他、施設への慰問演奏を行い、レベルの高い子供達の太鼓演奏は、どこでも大変喜ばれています。</p> <p>また、存続が危ぶまれている「山鳥坂夜神楽」の継承活動「子ども神楽プロジェクト」にも参加し、神楽舞にも挑戦。地域の文化継承に一役買っています。</p> <p>今後は、コロナ禍でも活動が停滞しないよう、インターネットを活用したリモートでの練習や演奏ができる体制作りを行っていきます。</p>	